



今月の表紙車  
**Cover of Car**  
*of this month*

伊藤吉行 / PHOTOGRAPHY 通井賢次 / COPY 宮谷和誠 / DESIGN

きらめく彫刻と、刺激的造形。これが日本の、究極カスタム。

【クールレーシングジャパン】  
 052-693-9893 http://www.kuhl-japan.com  
 酷クールジャパン

# KUHL Racing

# JAPAN

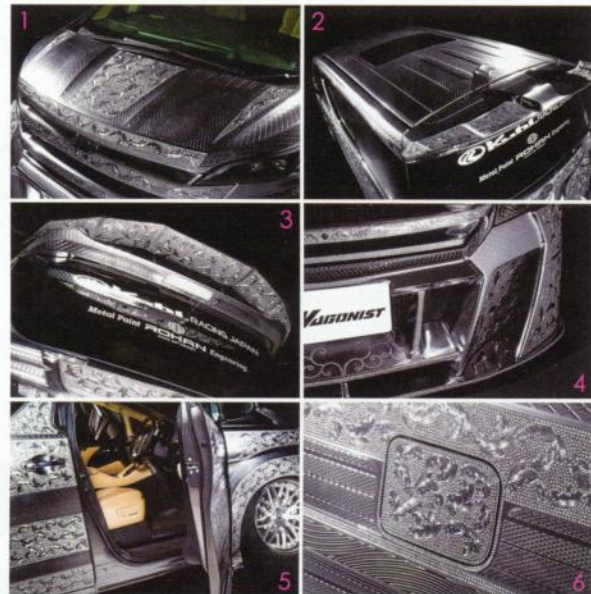
## VELLFIRE

# Racing

**世**界を魅了した金と銀のGTRから約1年。クールレーシングが、またしても超ド級の1台を完成させてきた。本誌、進化論でも追跡してきた、ヴァルフアア。ボディにはなんと、あのGTRの倍以上の彫刻。エングレービングを刻む。

この1台を完成させるために開発されたというエアロは、クールらしい刺激に満ちたレーシングフォルム。そこへ大量のエングレービングを施し、塗装で立体的ダイヤを描いたダイヤブロック、セブラウエーブ、ジャックポットといったカスタム塗装が全身に採用される。極めつけは、塗装を担当したローハンの井澤氏が10年以上をかけて開発した、まるで鏡なメタルペイント。圧倒的な輝きと唯一無二のカスタム塗装、刺激的なボディ造形、そのすべてがこの1台に集約されていることが、圧巻だ。

これを超えるヴェルフアアは、生まれないかもしれない。そう感じさせるほどの、まさに究極な仕上げ。日本の超絶カスタムに世界がまたしても驚嘆する様子、目に浮かぶ。



[1] ボンネットの中央にエングレービングを施し、周囲にはダイヤブロックペイントを採用。先端をグリルのフィンに見立て、横方向にデザインすることで、グリルを大きく、ワイドに見せた [2] ルーフとピラーには、立体的ダイヤ柄を塗装で浮かべたダイヤブロックペイントで、躍動感あふれるウイングももちろんクール製、その天面にもエングレービングを取り入れた [3] ウイングの底面にもエングレービングを採用。どの位置、どの角度から見ても、精巧な彫刻が目に入る構成が圧巻だ。ボディはまるで鏡のような革新メタルペイント [4] フロント両端の貫通している部分は、のぞき込んだ奥の壁面にもエングレービングを施すという手の込み

よう。別体フラップはブレンなメタルペイントで、そこに彫刻を映し込んで魅せる [5] ドアを開けた内側部分など、ふだんは見えないパートにまでしっかりとメタルペイントを施す。ラッピングでもメッキ加工でも実現不可な、塗装だからこそそのディテールワークだ [6] エングレービングとメタルペイントが施されたフェューエルリッドカバーは、これと同じデザインのものパーツとして販売する予定。豪華絢爛なこの仕様の一端に触れられるかも [7] ボディサイドに描かれたラインには、多数の技が、ネットの上から塗装して細かなダイヤ柄を浮かせられるジャックポット、シマウマ柄のセブラウエーブ、立体的ダイヤブロックなどを組み合わせ



- Fバンパースポイラー (RG/HG) ● ¥102,600/¥160,920
- SステップVer.1 (RG/HG) ● ¥74,520/¥150,120
- Rフローティングディフューザー (RG/HG) ● ¥37,800/¥69,120
- Rコーナーパネル (RG/HG) ● ¥42,120/¥74,520
- スワフネックGTウイング ● ¥108,000～
- Fディフューザー (RG/HG) ● ¥42,120/¥74,520
- Rバンパー (RG/HG) ● ¥81,000/¥128,520
- Fグリル (RG/HG) ● ¥59,400/¥91,800
- レーシングボンネット (RG/HG) ● ¥85,320/¥128,520
- ホイール:ヴェルス・デザインKCV01 (F:21×10.5・R:21×11.5・15)
- タイヤ:ファルケン・アゼニスFK453 (F/R:245/35)
- エアサス:エアフォース・スーパーパフォーマンスキット
- スーパーチャージャー:HKS・20アルファード&ヴェルフアア用
- ブレーキ:エンドレス・6ポットワゴン